

○議長（茅沼隆文）

ほかに討論のある方はいらっしゃいますか。

石田議員。

○5番（石田史行）

5番議員、石田史行でございます。

それでは、議案第13号 平成29年度開成町一般会計予算について、賛成の立場で討論をいたします。

まず、子育て環境の充実につきましては、妊娠、出産、子育てのワンストップ相談の窓口を設置することは評価いたしますが、小児医療費助成制度の中学生までの拡充を見送ったことは誠に遺憾であります。4月以降、足柄上地域1市5町の中で、開成町だけが小学6年生までとなるのは、子育て世代の定住促進の観点から好ましくないからであります。よって、次年度すなわち平成30年度一般会計予算には、中学生までの拡充を盛り込むことを強く要望いたします。

次に、役場、新庁舎の建設着手について、町長は審議の中で、町民集会を通じて、町民の理解を大方得たと答弁されましたが、建て替えの必要性について町民の一定の理解は得られているとは考えますが、庁舎単体の建設工事費用だけで24億5,000万円、坪単価にすれば約200万円の税金を投じることについて、町民の理解が大方得られたとは到底思えません。また、建設場所につきまして、現町民プールを解体して、その跡地を活用するということですが、開成小学校の児童や酒田保育園の子どもたち、長年プールを愛用してきた町民が使用できなくなり、影響が大きすぎます。よって、庁舎建て替えについては反対はしませんが、現在の設計案で進めることについては断固、反対いたします。むしろ、将来の合併をも想定して、議場を市民センター3階に簡易的に設計し、役場庁舎自体は簡素でシンプルな建物とし、建設費用を最小限に抑えるとともに、建設場所を旧ダイトモ跡地に変更することを提案いたします。また、市民プールの解体については、開成小学校内にプールが建設されるまで、保留することを強く要望いたします。

以上、本来であれば一般会計予算案について、反対すべきところでありますが感震ブレーカー設置を助成する補助金制度の創設、宮台老人憩の家のトイレ改修工事費用など、町民の安心、安全の暮らしを守る費用が盛り込まれているため、誠に苦渋の決断ではありますが、平成29年度一般会計予算案について、やむを得ず賛成とさせていただきます。

以上であります。